

「日本語教師養成プログラム修了証明書」を取得するために必要な授業（単位）一覧

（担当者名等は2017年度のもので。）

2017年4月5日作成

| | 授業科目名 | 担当者名 | 開講時期 | 曜日・時限 | 単位数 | 備考 |
|----|---------------------|---------|---------|------------------|-----|---|
| 1 | 社会言語学研究 | 非常勤 | 今年度は未開講 | | 2 | ・隔年開講（来年度開講）なので、来年度必ず履修すること。 |
| 2 | 対照言語学研究 | 非常勤 | 今年度は未開講 | | 2 | ・隔年開講（来年度開講）なので、来年度必ず履修すること。 |
| | 社会言語学演習 | 非常勤（永田） | 集中 | 8/6(日)-8/9(水) | 2 | ・必修ではないが、今年度が最後の開講になる予定なので、履修することが望ましい。 |
| 3 | 日本語教育学研究 | 廣田・小野 | 前期 | 火曜・3限 | 2 | ・「日本語教育法研究」と連続して履修することが望ましい。 |
| 4 | 日本語教育法研究 | 廣田・小野 | 前期 | 火曜・4限 | 2 | ・「日本語教育学研究」と連続して履修することが望ましい。 |
| 5 | 日本語教育学演習 | 小野 | 後期 | 火曜・3限 | 2 | ・「日本語教育法演習」と連続して履修することが望ましい。 ・「日本語教育学研究」と「日本語教育法研究」の履修を終えてから履修することが望ましい。 |
| 6 | 日本語教育法演習 | 小野 | 後期 | 火曜・4限 | 2 | ・「日本語教育学演習」と連続して履修することが望ましい。 ・「日本語教育学研究」と「日本語教育法研究」の履修を終えてから履修することが望ましい。 |
| 7 | 日本語音声表現研究 | 田中 | 前期 | 月曜・3限 | 2 | |
| 8 | 言語習得・発達論 | 田中 | 前期 | 金曜・2限 | 2 | |
| 9 | 日本語文法研究 | 田中 | 前期 | 金曜・4限 | 2 | |
| 10 | 日本語文法演習 | 田中 | 後期 | 金曜・2限 | 2 | |
| 11 | 日本語語彙論 | 田中 | 後期 | 金曜・4限 | 2 | |
| 12 | 日本語教育実習 | 小野・田中 | 通年 | 時間外 | 2 | ・実習先の希望について、早めに担当教員に相談すること。 |
| 13 | 日本事情・日本文化 | 田中 | 後期 | 水曜・3限 (木曜・3限) | 2 | |
| 14 | コミュニケーションと 言語・教育 | 原・石濱・畑江 | 後期 | 水曜・2限 | 2 | ・言語系コース（国語）の開講授業ではなく「教育実践コア科目」の「広領域科目」の「教科間連携科目」の授業なので注意すること。 |
| 合計 | | | | | 28 | |